

COMPASS



答えの無い問いを探していく。そんな時代だから目指す方位を指し示すものが要だ。そのようなものに私はなりたい。

全国学力・学習状況調査の質問調査に注目！



4月17日に、令和7年度全国学力・学習状況調査が行われました。目的の1つは、「学校における児童生徒への**学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる**」です。今回は、質問調査について紹介します。

問題だけでなく、質問調査の分析も重要なんですね？



そうなんです！
質問調査は、実は宝の山なんです！
自校の成果や課題、児童生徒の実態を把握する上で貴重な資料となります。

どのような項目について分析すればいいですか？



以下に令和6年度の質問調査の項目について、まとめてみました。ぜひ、自校の結果を分析し、校内研修等で話し合い、授業改善に役立ててください。

質問番号	カテゴリー	質問項目	児童（小学校）		生徒（中学校）		教師（小学校）		教師（中学校）		
			肯定的	否定的	肯定的	否定的	肯定的	否定的	肯定的	否定的	
27	56	ICT活用 5年生(中2)までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか	県	47.7	46.7	53.9	42.3	84.8	14.6	83.8	15.6
			全国	59.5	36.3	64.4	32.4	93.2	6.5	90.8	8.9
			差	-11.8	10.4	-10.5	9.9	-8.4	8.1	-7.0	6.7
28-5	58	ICT活用 5年生(中2)までの学習の中でICT機器を活用することについて、（5）自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	県	77.6	22.3	75.5	23.6	40.0	54.8	38.4	57.3
			全国	79.2	20.7	77.7	21.3	55.1	42.7	51.9	45.7
			差	-1.6	1.6	-2.2	2.3	-15.1	12.1	-13.5	11.6
28-6	60	ICT活用 5年生(中2)までの学習の中でICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（6）友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	県	83.2	16.8	84.1	15.1	28.4	55.8	27.9	52.2
			全国	86.1	13.8	85.2	14.0	45.0	44.3	41.1	44.9
			差	-2.9	3.0	-1.1	1.1	-16.6	11.5	-13.2	7.3
30	25	主体的学び 5年生(中2)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	県	81.7	18.2	80.3	19.3	84.5	15.4	84.9	14.9
			全国	81.9	18.1	80.3	19.3	88.2	11.8	88.4	11.5
			差	-0.2	0.1	0.0	0.0	-3.7	3.6	-3.5	3.4
31	自分の言葉 でまとめる 5年生(中2)までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	県	78.1	21.7	73.8	25.5					
		全国	79.6	20.3	75.4	24.0					
		差	-1.5	1.4	-1.6	1.5					
32	30	個別最適な 学び 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	県	82.5	17.4	79.7	19.8	91.2	8.6	85.4	14.1
			全国	84.3	15.7	80.9	18.6	90.3	9.6	86.3	13.5
			差	-1.8	1.7	-1.2	1.2	0.9	-1.0	-0.9	0.6
33	対話的な学 び 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	県	84.9	14.1	85.4	13.1					
		全国	86.3	12.8	86.1	12.2					
		差	-1.4	1.3	-0.7	0.9					
34	まとめ 自己調整 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	県	79.1	20.8	76.4	22.5					
		全国	80.8	19.1	77.9	21.2					
		差	-1.7	1.7	-1.5	1.3					
35	35	学びを 実生活へ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか	県	82.5	17.4	78.2	20.8	85.2	14.6	72.2	27.6
			全国	83.7	16.2	79.0	19.9	85.7	14.1	78.6	21.3
			差	-1.2	1.2	-0.8	0.9	-0.5	0.5	-6.4	6.3
36	個別最適な 学び 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	県	86.6	13.3	83.1	15.9					
		全国	87.9	12.0	84.9	14.2					
		差	-1.3	1.3	-1.8	1.7					
37	28	協働的な学 び 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	県	90.5	9.4	91.7	7.5	91.8	7.9	96.3	3.2
			全国	91.6	8.3	92.3	6.8	93.6	6.3	96.1	3.8
			差	-1.1	1.1	-0.6	0.7	-1.8	1.6	0.2	-0.6

明日から役立つCHIBAの学力向上施策一覧 (千葉のいちばん星) をぜひ御活用ください!

☆「明日から役立つCHIBAの学力向上施策一覧」には、子供たちの学ぶ意欲・学力の向上や
教員の授業改善に役立つ情報が数多く掲載されています。

～ 例えば、こんな時に活用できます ～

「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」に沿って授業を進めたいけれど具体的にどうしたらよいかわからない。

「授業実践アイデア例」というものがあります。
(授業全体や単元全体を見通した授業改善の具体例)
授業実践アイデア例では、全国学力・学習状況調査の問題や結果等を踏まえて、「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を活用した授業全体や単元全体を見通した授業改善の具体例を示しています。

自分の考えを広げたり深めたりすることが苦手な生徒への指導のポイントは?

「課題別実践アイデア例」がおすすめです。
(課題となる部分に重点的に効果を発揮する具体例)
課題別実践アイデア例では、全国学力・学習状況調査の結果等を分析した結果、具体的に課題となる部分に対して重点的に効果を発揮できるような取組について取り上げています。

中学校・国語 授業実践アイデア例

「箱ひげ図を比較し、統計的に問題解決できるようにしよう！」

総用 7 (2) データの活用
●領域 ID ●評価 思考・判断・表現 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果分析から

出題の趣旨→複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

調査結果	平均	国語	数学	全学	県別平均	国語	数学	全学
正答率	23.5%	26.0%			33.3%	29.4%		

●身に付けたい力
四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解できる力

課題
箱ひげ図が自分から分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られる。

授業改善の
日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して分析し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するといった一連の活動を充実させる。

見いだす 疑問をもつ、課題を明確にする-

右の箱ひげ図は、千葉県内5都市の中学生が7月の夏休みを過ごした様子です。(単位は時間)

県内でどこにも夏宿舎に泊る出ないから、右に付くほど、暑くっていいのかな?

新子宿舎の宿舎が1というところは、気温差が少ないから過ごしやすいのかな?

箱ひげ図の箱の長さが一番長い市原市が暑いのかな?

どの都市が一番暑いのか、温度差を基に判断してみましたよ。

授業改善のポイント
日本の数値から自分で必要なものを課題を思い定めます。温度の差をもとに課題を設定します。

自分で取り組む-自分の考えを形成する-

箱ひげ図の箱の長さは傾斜にかなっているかな? 授業改善のポイント
箱の長さからは、データの取り分け具合はわかるけど、暑い(気温が高い)ことを言うために、箱ひげ図の傾斜に着目して考えよう。
箱の位置と中央値に着目すればわりとそうだ。

広げ深める-新たな考えに気づく-

どのように考えたか話し合ってみよう。

市原市は箱ひげ図の位置が一番上にあるから、一番暑いと言えそうだ。
新子宿舎は箱ひげ図の箱の長さが長いので、四分位範囲が広いから、気温の差が小さく、暑さの割合が低く感じられる。中央値がそれぞれ違うので、一番暑いといえない。

授業改善のポイント
複数の箱ひげ図を比べ、見だしたことを、他者に分かりやすく表現できているか確認します。その際、箱ひげ図の特徴や傾向、代表値等を用いて説明しているかに注目します。また、表現されたものを他者が読み解けるか合うことも大切です。

まとめあげる-新たな疑問をもつ-

茂原市のデータを付け加えます。何かわかることはありますか?
市原市の箱ひげ図と似ているから、見よう気がない。
ヒストグラムを使って分布の様子を、見えない、正確にはわからない。
箱ひげ図は複数の都市を比較するのに便利だけど、箱ひげ図だけではわからないこともあるんだね。
令和6年度も同じ傾向が見えるのか、結果を使って調べてみたい!

授業改善のポイント
箱ひげ図は、複数のデータの分布を比較しやすい図形。データの分布の形など失われる情報もあるため、必要に応じて箱ひげ図とヒストグラムを関連付けて用いることが重要である。

課題

【小・算数】「速さ」の意味の理解が不十分

手立て
「速さ」の特性と関連して理解を固める

具体例

POINT① 「時間」と「距離」が必要な量であることへの理解
○「速さ」は基本的な量の性質をもっていない量
○「速さ」を調べるには、「時間」と「距離」が必要であること、児童自身に気付かせる素材の工夫
(例) 時刻表のタイムだけを比較。時刻表から、距離が異なることに気付かせ、「時間」と「距離」が必要であることに気付かせる。
○速さを求めるために必要な量、児童自身が自分で調べる場の設定
(例) 異なる路線を走る新幹線の速さを比較。時刻表などからかかる時間と距離を自分で調べ、求める。

POINT② 「時間」と「距離」が比例関係にあることへの理解
○比較関係にあることを、児童が理解しやすい関係を使う。
☆同じ速さで移動したときの「時間」と「距離」

距離(200km)を走る新幹線がある。この新幹線が2時間以内で移動すると、1時間以内で、速く、3時間以内、5時間以内、7時間以内で移動する。	時間	1	2	3	5	7
速さ	200	400	600	800	1,000	1,400

表にまとめる。

グラフにまとめる。

「授業実践アイデア例」



アクセスはこちらから

「課題別実践アイデア例」

「千葉のいちばん星」の「個別最適な学び・協働的な学び」をクリックしてもアクセスできます!



過去の調査問題・正答例・解説資料等を掲載した国立教育政策研究所のホームページ等にも、
[関連サイト]から簡単にアクセスできます。